

特定漁港漁場整備事業計画書

1 目的

目的

1. 地域の特徴

本地区は、島原半島の西南部に位置し、橘湾を漁場とする本市最大の漁港である。あぐり網漁で採れた新鮮ないわしを原料に煮干加工が行われているほか、刺網漁やぶりやタイの海面養殖も盛んであり、雲仙市の食料供給の主漁港となっている。

2. 水産業の沿革と現状

当漁港は、あぐり網、刺網等の沿岸漁業や養殖業を主に営む京泊地区とサンマ棒受網や大目流し網等の沖合漁業を主に営む中ノ場地区がある。

京泊地区はイワシ（圏域内の64%）やブリ（圏域内の86%）などを水揚げする陸揚拠点、中ノ場地区は三陸や東シナ海でサンマ（圏域内の100%）やカジキ（圏域内の100%）など漁獲する漁船の準備・休けい基地であり、当漁港は県央圏域における水産物生産の拠点漁港として重要な役割を担っている。

3. 漁港漁場の沿革と役割

京泊（南串山）漁港は昭和26年6月に第1種漁港の指定を受け平成30年5月に第2種漁港に格上げされており、水産物の生産拠点として現在まで整備が進められてきたところである。

当該漁港は、養殖ブリのブランド化や漁獲物の加工、新規漁業者の育成などにも取り組んでおり、水産業振興に意欲的な地域であるとともに、水産基盤の整備により水産業はさらに発展し、地域経済の活性化が期待される。

4. 当該事業計画の目的

(1)産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

近年、当地区では沖合漁業の大型漁船が増加しているが、これらの漁船が安全に係留できる施設が不足していることから、サンマ漁の休漁期にも東北から帰港できず、漁業許可を有している東シナ海でのカジキ漁の操業機会が失われているなど、大型漁船の性能を十分に発揮できていない状況である。

このため、大型漁船に対応した岸壁及び泊地を整備し、大型漁船の安全な係留を可能にするとともに、操業機会の増加による水産物の安定的な供給体制の構築を図る。

(2)多様な人材の活躍による漁村の魅力と所得の向上

当地区は漁具の積降・補修を行う用地が不足しているため、重量がある漁具の積み下ろしにクレーン車等の車両が使用できず人力で積み下ろしせざるを得ず、用地が狭いため他港まで漁具を運搬し補修を行うなど重労働かつ非効率な作業を強いられている。

このため、用地及び道路を整備し、出漁準備作業における漁業者の労働環境改善を図るとともに、漁具補修作業等の漁業活動の効率化を図る。

2 施行に係る区域及び工事に関する事項

(1)区域に関する事項

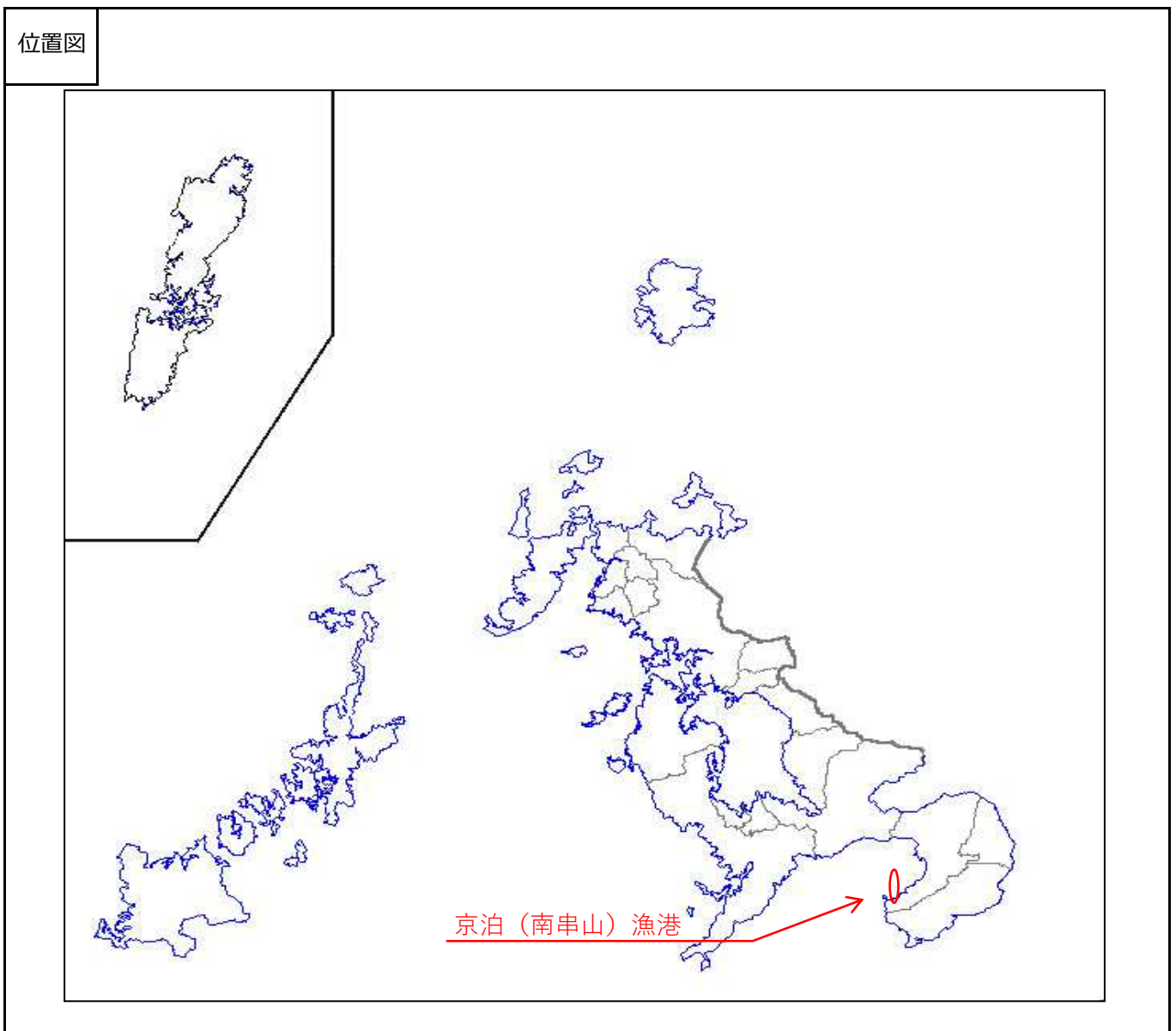
イ 区域名

区域名	京泊（南串山）地区
-----	-----------

ロ 所在地等

都道府県名	長崎県	関係市町村名	雲仙市
地域指定	「過疎地域自立促進特別措置法」 「半島振興法」		
整備対象漁港名	京泊（南串山）漁港	整備対象漁場名	

ハ 位置図



写真等

別添のとおり

二 当該区域の水産業に係る現況、課題及び整備方針

当該区域の水産業の現況、課題及び整備方針

○圏域の県内での役割

京泊（南串山）漁港が属する県央圏域は、長崎県の中央部に位置し、橘湾、大村湾、有明海に面した地域に位置し、各海域でそれぞれの海域特性にあった漁業が営まれており、水産業は地域経済を支える産業の一つとなっている。

当該圏域内では、小型底引き網、中型まき網、採介藻、養殖業等、各海域にあった漁業が営まれ、主要な魚種は、いわし、ぶり等である。

当該圏域を含む長崎県南地区の漁獲生産量は減少しており、資源の悪化が懸念されている。このような中で、魚礁や築磯の整備、磯焼けが進む藻場等の沿岸の漁場の保全に努めながら、橘湾ではヒラメ、クルマエビ、クマエビなど、有明海では、ヒラメ、クルマエビ、カサゴなど、大村湾ではヒラメ、カサゴ、ナマコ、ガザミなど、それぞれの海域の特性に応じた種苗放流を行い、つくり育てる漁業に熱心に取り組んでいる。

○当漁港の圏域内での役割及び現状の課題とそのための整備方針

京泊漁港は、中型まき網が主な漁業であり、イワシが主に陸揚げされている。イワシは圏域内での陸揚量の約50%を占め、中型まき網漁業の陸揚港としての役割が大きい。このように圏域内の水産物供給に大きく貢献している当漁港における現状の課題と、解決するための整備方針は下記のとおりである。

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①現況・課題

近年、当地区では沖合漁業の大型漁船が増加しているが、これらの漁船が安全に係留できる施設が不足していることから、サンマ漁の休漁期にも東北から帰港できず、漁業権を有している東シナ海でのカジキ漁の操業機会が失われているなど、大型漁船の性能を十分に発揮できていない状況である。

②整備方針

大型漁船に対応した岸壁及び泊地を整備し、大型漁船の安全な係留を可能にするとともに、操業機会の増加による水産物の安定的な供給体制の構築を図る。

(2) 多様な人材の活躍による漁村の魅力と所得の向上

①現況・課題

当地区は漁具の積降・補修を行う用地が不足しているため、重量がある漁具の積み下ろしにクレーン車等の車両が使用できず人力で積み下ろしせざるを得ず、用地が狭いため他港まで漁具を運搬し補修を行うなど重労働かつ非効率な作業を強いられている。

②整備方針

用地及び道路を整備し、出漁準備作業における漁業者の労働環境改善を図るとともに、漁具補修作業等の漁業活動の効率化を図る。

ホ 整備対象漁港及び整備対象漁場の現況及び将来見通し

(現況)

(令和5年漁港港勢調査)

整備対象 漁港名 京泊（南串山）漁港	属地陸揚量	10,762 ト	属地陸揚金額	2,218 百万円	属人漁獲量	2,481 ト
	登録漁船隻数	222 隻	利用漁船隻数	222 隻	漁船以外利用船舶隻数	- 隻
	主な漁業種類 あぐり網、刺網、流し網、棒受網		主な魚種 ぶり、いわし、かじき、さんま			

(将来見通し)

(目標年：令和15年)

整備対象 漁港名 京泊（南串山）漁港	属地陸揚量	2,922 ト	属地陸揚金額	990 百万円	
	登録漁船隻数	218 隻	利用漁船隻数	219 隻	漁船以外利用船舶隻数 - 隻
<p>将来見通しの考え方</p> <p>(属地陸揚量、属地陸揚金額)</p> <p>平成26年から令和5年までの10年間を分析期間とし、1次回帰分析による将来予測を行った。1次回帰分析を適用するに当たって、基準年は令和5年、推定年は令和15年とした。推定年の値については、1次回帰分析による結果、令和5年のみ豊漁で、全体としては減少傾向にあるものの、当該事業の整備により、漁港の利便性向上が図れるため、分析結果を採用する。</p> <p>(登録漁船隻数)</p> <p>平成26年から令和5年までの10年間を分析期間とし、1次回帰分析による将来予測を行った。1次回帰分析を適用するに当たって、基準年は令和5年、推定年は令和15年とした。推定年の値については、1次回帰分析による結果、現況と比較して減少しているが、当該事業の整備により、漁港の利便性向上が図れるため、分析結果から218隻とする。</p> <p>(利用漁船隻数)</p> <p>平成26年から令和5年までの10年間を分析期間とし、1次回帰分析による将来予測を行った。1次回帰分析を適用するに当たって、基準年は令和5年、推定年は令和15年とした。推定年の値については、1次回帰分析による結果、現況と比較して減少しているが、当該事業の整備により、漁港の利便性向上が図れるため、分析結果から219隻とする。</p>					

(2) 工事に関する事項

イ 主要施設の種類、規模及び配置等

(漁港施設)

都道府県名	整備対象漁港名	漁港種類	所管	事業主体名	漁港管理者名
長崎県	京泊(南串山)漁港	第2種	本土	雲仙市	雲仙市
計画施設	計画工事種目		単位	計画数量	備考
水域施設	-7m泊地		m ²	10,450	新設
係留施設	-7m岸壁		m	210	新設
輸送施設	道路		m	55	新設
漁港施設用地	用地		m ²	4,440	新設

ロ 工事の着手及び完了の予定時期

着手予定年度	令和 3 年度	完了予定年度	令和 11 年度
--------	---------	--------	----------

令和3年度～令和7年度は、水産生産基盤整備事業(一般)で実施

ハ 計画平面図

計画平面図	別紙のとおり

3 事業費に関する事項

計画事業費	2,837 (百万円)
-------	-------------

4 効果に関する事項

1. 主要な水産施策別の事業効果			
<p>(1)産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化</p> <p>本地区に大型漁船が係留可能な施設が不足していることから、所要水深を確保できる防波堤に係留可能な2隻のみで大目流し網漁を操業。残りの2隻は気仙沼漁港に係留したままで、サンマ漁以外の操業は行っていない。</p> <p>岸壁等を整備し、6隻係留可能となることで、6隻での大目流し網漁の操業が可能となり、生産量の増加、漁業者の所得増加が見込まれる。</p>			
<p>(2)多様な人材の活躍による漁村の魅力と所得の向上</p> <p>当漁港には流し網漁、養殖業等の漁船が係留可能な岸壁が不足していることから、所要の水深を確保できる防波堤に係留せざるを得ない状況であるため、漁具の補修時にはトラックが漁船の近くまで行けず、台車等を用いて防波堤上を運搬し、トラックに積換え、補修場所に運搬しており、非効率な作業を強いられている状況。</p> <p>岸壁及び用地を整備することで、漁船が係留した岸壁の直背用地で補修ができるようになることから、積み下ろし作業や運搬時間の削減が図られる。</p>			
2. 地域に与える影響			
<ul style="list-style-type: none"> 岸壁の整備により、漁業作業の軽労化が図れ、漁業者の新規参入及び高齢の漁業者の従事期間延伸が促進される。 			
3. 費用対効果分析結果			
社会的割引率	4.0 %	投資期間	令和 3 年 ~ 令和 11 年
現在価値化の基準年度	令和 4 年	施設の耐用年数	50 年
貨幣化による分析結果			
貨幣化した効果項目	水産物生産コストの削減効果 漁獲機会の増大効果 漁業就業者の労働環境改善効果 漁業外産業への効果		
総便益額B	3,055 百万円		
総費用額C	2,753 百万円		
費用便益費率(B/C)	1.11		
参考	純現在価値 : (B-C)	302 百万円	
	内部収益率 : (IRR)	4.05 %	

4. 事業の定量的・定性的効果（貨幣化が困難な効果）

漁港施設整備による就労環境改善効果により、新規漁業参入者が見込まれる。

5 環境との調和に関する事項

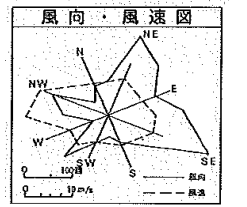
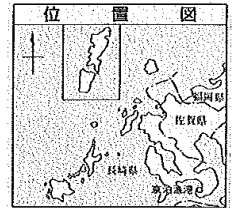
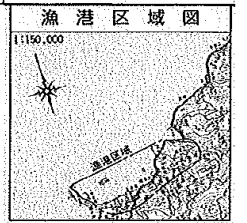
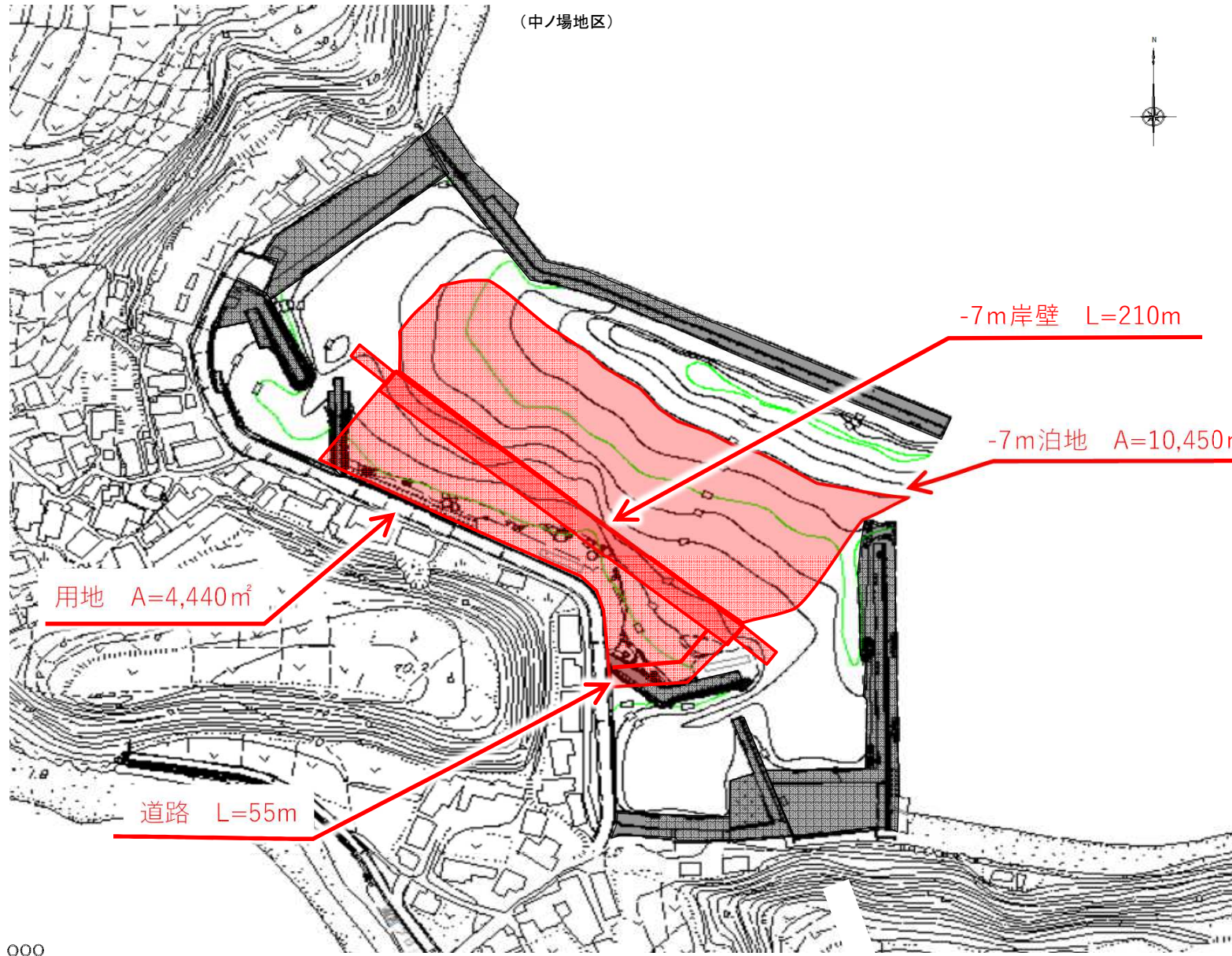
環境との調和に関する事項

岸壁の整備にあたっては、濁りの発生を抑制する対策や他船との衝突をさける対策などを施しつつ、沿岸の環境に配慮した施工、機材、材料を用いて行う。また、施工にあたっては現況の藻場の形成状況を把握するとともに、海藻着生に適したブロックの使用を検討するなど、CO2吸収効果の促進等による環境負荷低減を図る。

6 他の水産業に関する施設との関係に関する事項

施設名	施設規模・内容	本事業との関係	備考
—	—	—	—

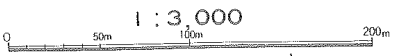
京泊(南串山)地区水産生産基盤整備事業 計画平面図 (京泊(南串山)漁港)	漁港番号	事業種別	所管別	事業主体	管理者	施行場所
	4528040	第2種	本土	雲仙市	雲仙市	長崎県雲仙市南串山町中ノ場



潮位図

H.W.L.	+3.50
M.S.L.	+1.80
T.M.S.L.	+1.64
C.D.L.	+0.00
L.W.L.	-0.20

	既存施設
	計画施設



事業名:水産生産基盤整備事業
地区名:京泊(南串山)地区



令和元年3月撮影



写真-1 水深が確保できる防波堤への係留状況 令和2年1月23日撮影



写真-2 水深が確保できる防波堤への係留状況 令和2年1月23日撮影



写真-3 人力による漁具の荷卸し状況 令和2年1月23日撮影



写真-4 人力による漁具の荷卸し状況 令和2年1月23日撮影



写真-5 狭い用地での非効率な網補修作業状況 令和2年1月23日撮影



写真-6 狭い用地での非効率な網補修作業状況 令和2年1月23日撮影